

令和6年度 学校関係者評価 報告書

令和6年11月

いわき市医療センター看護専門学校

【目次】

1 学校関係者評価の概要と実施状況

- (1) 学校関係者評価の目的
- (2) 学校関係者評価委員
- (3) 学校関係者評価委員会の開催
- (4) 学校関係者評価方法

2 学校関係者評価の評価結果と内容

- (1) カテゴリーⅠ 学校経営
- (2) カテゴリーⅡ 教育課程・教育活動
- (3) カテゴリーⅢ 入学・卒業対策
- (4) カテゴリーⅣ 学生生活への支援
- (5) カテゴリーⅤ 管理運営・財政
- (6) カテゴリーⅥ 施設設備
- (7) カテゴリーⅦ 教職員の育成
- (8) カテゴリーⅧ 広報
- (9) カテゴリーⅨ 地域との連携

1 学校関係者評価の概要と実施状況

(1) 学校関係者評価の目的

- ① 実習指導者、同窓会等卒業生、看護師養成所教員経験者、母体病院職員等の学校関係者が、本校の自己評価の結果を評価することで、その客観性・透明性を高める。
- ② 学校関係者評価により、本校の学校運営や教育活動等の課題を明確にし継続的な改善を図る。
- ③ 学校関係者評価は、本校の自己評価を基に、「いわき市医療センター看護専門学校学校関係者評価委員会運営要綱」に則り実施する。

(2) 学校関係者評価委員

- ① 任期 令和6年8月30日から令和7年3月31日
- ② 委員名簿

氏名	区 分
齋藤 真紀	学生指導協議会の委員
酒井 敬子	専門学校同窓会の会員
相馬 梨恵	専門学校の卒業生
高木 文子	大学又は看護師養成所において教員としての勤務経験を有するもの
鈴木 隆宏	いわき市医療センター事務局の職員

(3) 学校関係者評価委員会の開催

- 第1回委員会 日時： 令和6年8月30日 13：30～15：30
場所： 本校2階会議室
内容： 委嘱状交付
学校関係者評価委員会の概要説明
令和5年度自己評価結果の説明
授業見学、施設案内
第2回委員会の概要説明
委員長、副委員長の選出
- 第2回委員会 日時： 令和6年10月23日 13：30～14：20
場所： 本校2階会議室
内容： 自己評価結果の評価結果
意見交換、提案等
まとめ

(4) 学校関係者評価方法

- ① 自己評価結果について、「適正」か「不適正」の評価をする。
- ② 評価事項、評価内容、その他学校運営等について改善の意見提案を行う。

2 学校関係者評価の評価結果と内容

※

評価結果

 の用語について

「自己評価の平均」とは

⇒ 看護専門学校職員が、カテゴリ一別の評価事項について5段階で自己評価したものの平均の数値

- 5 : できている
- 4 : ややできている
- 3 : 普通
- 2 : ややできていない
- 1 : できていない

「学校関係者評価の結果」とは

⇒ 看護専門学校の教職員による自己評価の結果が、「適正」なのか「不適正」なのかを学校関係者評価委員（5人）が評価した結果

(1) カテゴリⅠ 学校経営

評価結果	自己評価の平均	4.66
	学校関係者評価の結果	適正 5 人：不適正 0 人

評価できる点	・ 条例、学則等を遵守し、適正に学校運営が行われている。また、学校の事務や意思決定等についても、市病院事業の諸規定に基づき、適正に実施されている。 ・ 関連した会議が計画的に行われ、記録もまとめられることにより、業務に活かせるものになっている。
--------	--

改善の意見提案
(特になし)

現状や改善の方策等
(特になし)

(2) カテゴリⅡ 教育課程・教育活動

評価結果	自己評価の平均	4.44
	学校関係者評価の結果	適正 5 人：不適正 0 人

評価できる点

- ・ 授業計画書は、学校の教育理念や教育目標を実現できるよう作成されているほか、スケジュールについても、各科目の担当教員が作成する原案をもとに、前年度から協議・調整が行われており、質の高い教育の実現に向け努力している姿勢が見える。
- ・ ボランティア活動の様子や地区踏査の掲示物などから、地域とのつながりが深まっているのを感じた。
- ・ 授業は学生中心のワークで構成され、電子テキストの動画やドリルも活用するなど、多様な教材で主体的に学ぶ工夫がされている。
- ・ ガイドラインやインシデント分析、授業評価などは整っており、学生にも説明できる内容になっている。

改善の意見提案	・ インシデント内容について、可能であれば事例をリスト化してはどうか。 リスト化して情報を共有することにより、学生の安心材料となるのではないかと。
---------	---

- ・ 実践的な授業を多く取り入れているようなので、臨地実習でも学生が行いたい援助などを積極的に実施してほしい。

現状や改善の方策等

- ・ インシデント報告は、インシデントからの学びと併せて、インシデントが起きた時の情報共有の重要性を学ぶことにも重点をおいている。

事例をリスト化した情報を共有することについては、事象の注意喚起のみに学生の意識が向くのではなく、起きた事例を報告し、それを組織で共有することの大切さを伝えることに重点をおきながら、今後、段階を踏んで取り組んでいきたいと考える。

- ・ 基礎看護技術を学ぶ授業の中では、技術に必要な原理・原則を学ぶだけではなく、様々な事例を提示して実施し、実践に近い形で教授している。

実習においては、授業で取得した技術を実施できるよう、十分に準備して臨んでいるが、様々な状況をアセスメントしながら実施する展開には難しい内容であることから、実際に患者と関わっている臨床指導者より、思考発話しながら一緒に実施することが学びに繋がり、患者への関わりもスムーズになると考える。

(3) カテゴリーⅢ 入学・卒業対策

評価結果

自己評価の平均

4.67

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 学生募集にあたり、より多くの応募者を確保するため、進路相談会への参加や学校見学会の開催などに継続的に取り組んでおり、毎年、定員を満たしている。
- ・ 国家試験において高い合格率を維持しているのは、国家試験を意識した効果的な授業が行われていることに加え、教員の適切な学習支援によるものと考ええる。
- ・ 保護者も参加可能な学校見学会の開催や、広報紙「あぜりあ」を高校などへ配布すること等、学校の魅力をアピールする機会を設け、応募者の確保に努めている。

改善の意見提案

- ・ 就職に関しては市内定着に向け努力し、成果をあげていると思うが、対応状況に進路決定率だけでなく、市内就職率（市立病院就職率）などがあってもよいのではないか。

現状や改善の方策等

- ・ 本校は地域医療への対応のため設置され、入学者受入方針にも「看護師になり地域医療に貢献したいという意思がある。」と掲げており、例年、市内就職率は高い傾向にある。

今後、市内就職率の報告について検討していきたい。

(4) カテゴリーⅣ 学生生活への支援

評価結果

自己評価の平均

4.73

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 学生全員を対象に個人面談を実施するほか、成績不振者等には随時面談を行い、個人の状況に合わせた適切な助言を行うなど、学生に寄り添う姿勢が見て取れる。
ボランティア団体も設立されており、こうした経験は社会教育の面で「自発的な行動」に対する意識が醸成され、医療の現場にも相通ずるものがあると思う。
- ・ 複数の教員が関わる学生間交流グループ、スクールカウンセラーなど、複数のネットを設け、学生への支援体制を整えることができている。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(5) カテゴリーⅤ 管理運営・財政

評価結果

自己評価の平均

4.54

学校関係者評価の結果

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 施設整備の不具合箇所など優先順位を付け、緊急性の高いものから順次更新が行われているほか、授業料等の未納もなく、適切に執行管理されている。
- ・ 予算の執行、個人情報保護、危機管理などが適切に行われている。

改善の意見提案

- ・ 近年、自然災害が多発していることから、災害を複数パターン想定し、行動する内容の防災訓練を行うことで、経験値が高まるのではないかな。

現状や改善の方策等

- ・ 通常の防災訓練に加え、今後は様々な災害を想定した防災訓練を行うことにより、非常時に適切に対応できる体制を整えていきたい。

(6) カテゴリーⅥ 施設設備

評価結果

自己評価の平均

4.31

学校関係者評価の結果

適正4人：不適正1人

評価できる点

- ・ 施設は計画的に修繕されている。
- ・ 定期的に清掃、ワックスがけが行われており、校内がきれいに保たれている。

改善の意見提案

- ・ 建物本体の老朽化箇所については、長寿命化計画等に基づき、事業費の平準化を図りながら適切に修繕をお願いしたい。
- ・ 館内が全体的に暗い印象であるため、照明の修繕を検討してもらいたい。
- ・ 電子黒板、書画カメラの導入などICT教育に順応しているが、機器の更新時期の対応についても、極力平準化を図りながら計画的な対応をお願いしたい。
- ・ 清掃は日常的に学生により行われているが、トイレなどは学校側で行うことを検討してもよいのではないかな。

現状や改善の方策等

- ・ 施設全体の維持管理については、医療センター担当課の協力の下、施設の現状や課題を踏まえた長期的修繕計画に基づき、劣化箇所について計画的かつ効率的な修繕を行っているところである。
今後も同課と協力し、突発的な不具合についてはその都度対応するなど、緊急の修繕にも対処しながら、適切な修繕を行いたいと考える。
- ・ 電子黒板、書画カメラなどの機器の更新については、適切な時期に予算化を検討するなど、医療センター担当課と協議しながら対応したい。
- ・ トイレ清掃については、学生が行う他、月1回の頻度で委託業者が行っている。委託回数の増加は困難であるため、今後も現状を維持したいと考える。

(7) カテゴリーⅦ 教職員の育成

評価結果

自己評価の平均
学校関係者評価の結果

4.36

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 教員の自己研鑽に係る研修費用を確保するなど、専門領域の知見の広がりが期待され、臨床看護実践研修にも参加していることから、実践面でのスキルアップも同時に期待できる。
- ・ 教員が他の教員の授業を自由に参観し、意見交換を行える場が設けられ、職場内においても、常に教職員の育成を意識した仕組み（制度）が確立されている。
- ・ 研修等で得た知識などを他教員に還元することは、新たな知見を取得できることから、授業運営にも役立てられると感じた。
- ・ 教員ラダーへの挑戦、公開授業、研究への取り組みを通して、教員自身が成長していけるシステムとなっている。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)

(8) カテゴリーⅧ 広報

評価結果

自己評価の平均
学校関係者評価の結果

4.72

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ Facebookの更新も定期的に行われており、Instagramも始まることから、より若年層にアピールできる。
- ・ 広報紙「あぜりあ」により、普段の学びの様子がとてもよく分かる。

改善の意見提案

- ・ 広報紙「あぜりあ」について、紙媒体での配布だけではなく、SNSなどで紹介してはどうか。

現状や改善の方策等

- ・ 当校を多くの方に知ってもらうため、広報紙「あぜりあ」をSNSで紹介し、SNSによる拡散力の有効活用を考えている。

(9) カテゴリーⅨ 地域との連携

評価結果

自己評価の平均
学校関係者評価の結果

4.66

適正5人：不適正0人

評価できる点

- ・ 学校祭の一般公開は工夫を凝らしていることが見受けられる。今後もアイデアを出しながら主催者、来校者双方にとって良いものとなることを望む。
- ・ ボランティア活動で地域に出るとともに、地域の方が来校する機会も増えている為「地域になくてはならない学校」となっていると思う。

改善の意見提案

(特になし)

現状や改善の方策等

(特になし)